

「オランダ島」 浮棧橋新設を可決

12月
定例会の
あらまし



浮棧橋新設が決まった「オランダ島」

令和元年12月定例会は12月16日から24日まで9日間にわたって開かれました。
町長提案の議案34件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2〜3頁)

令和元年12月定例会は12月16日から24日まで9日間にわたって集中審査し、全て原案のとおり可決しました。(4〜9頁)
一般質問では8人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(10〜18頁)

定例会の議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、3月下旬ころから、議会ホームページ、町立図書館で閲覧可能となる予定です。

東 日本大震災により被災した「オランダ島」の早期復興を図るため既存の棧橋を撤去し、新たに浮棧橋を整備する工事の請負契約の議案が提案され、全員賛成で可決しました。

■オランダ島施設整備事業

▽工事概要

- 浮棧橋 1基
- 連絡橋 1基
- 係留杭 4本
- 照明灯 2基

▽工期

元年12月26日
～2年3月19日

▽請負契約金額

1億3618万円

▽受注者

大坂建設株式会社
(宮古市)

■質疑応答

問 今ある棧橋を撤去して設置すると思うが、水

の流れが変わると砂浜が削れてなくなってしまうことがあるようである。そういう部分も考慮して設計しているのか。

野口水産商工課長 施工性、環境への配慮、利便性という3つの視点で環境省と協議をしながら決定した。陸上で作業をし据え付けるので現地での施工の部分が少なく生態系への影響も少ない。また、潮位の変動に対して乗降が楽という利便性がある。

問 この浮棧橋には何トン級の船が係留できるのか。

水産商工課長 計算上は27トンの船まで対応可能である。

問 連絡橋は強度の面から島に直付けのほうが良いと思うがどうか。

水産商工課長 供用開始以降も点検は行うので、その中で対応していく。